

令和5年度を迎えて

矢田中学校に赴任し2年目を迎えます。本年度、新たに加わった7名の教職員を含め教職員が一つになり、よい伝統を継承しつつ、昨年度の成果と課題を踏まえ、新しい見方・考え方で教育活動を見直し、さらなる充実を図っていきたいと考えています。

4月には、113名の新1年生を迎え、全校生徒340名でスタートしました。どの生徒も、朝の登校では、元気に「おはようございます」と挨拶を交わしています。また、8時15分になると、ほとんどの生徒が登校し、ゆとりをもって朝の活動や授業の準備を行い、それぞれの目標に向かって粘り強く取り組んでいます。

また、昨年度、ナゴヤ・スクールイノベーション事業のモデル校として、プロジェクト型学習(PBL)を「総合的な学習の時間」に取り入れました。1年生は「よりよい街づくり」、2年生は「SDGsプロジェクト」をテーマに、生徒一人ひとりが、地域貢献、社会貢献に繋がるプロジェクトを立ち上げ、主体的に取り組んでいきました。「学区の交通事故を減らす取組」「体の不自由な人が幸せに暮らせる街づくり」「ジェンダー平等の意識啓発」「地球環境を守るエネルギー活用」など、様々な思いをもってプロジェクトを達成するために、地域や市内の各施設で調査・情報収集、地域の人との交流や提案等を行いました。この学習を通して、これからの人生をたくましく生きるために必要な問題解決力、コミュニケーション力、自己調整力等、様々な力を高める姿が見られました。

このような、学校生活の姿や学習での成長は、学校だけでなく、「家庭や地域の支えと理解」があるからこそだと考えます。家庭や地域の協力のもと、学校としての役割を認識し、しっかり責任を果たしていきたいと考えています。そして、学校と家庭、地域が手を携えて子どもたちへの教育を進めていくことが、よりよい成長に不可欠であり、その成果は絶大だと考えますので、今後ともご支援・ご協力をいただきたいと思います。

さて、本校の校訓「清心・自学・実践」を身に付けた生徒の育成に向け、本年度の学校努力目標を「互いの良さを大切にして、自分らしく生きる力の育成」としています。その目標達成を目指し、学校グランドデザイン(別紙)を掲げました。

今年度、キャリアナビゲーターと連携し、プロジェクト型学習(PBL)を進めていきます。また、どの生徒も学校が居心地がよい場所となるよう、スクールカウンセラーとも連携を図るとともに、集団生活が苦手な生徒も安心して学ぶことができる場所をつくっていく予定です。そして、どの生徒も様々な活動において主体的に取り組み、随所に「自分らしさ」を発揮できるよう、教職員が活動を支え、「自分らしく生きる力」を育てていきたいと考えています。

この一年、本校教育活動へのご理解・ご支援・ご協力をよろしく願います。

令和5年4月28日